済生会山口総合病院

**造影CT検査（ヨード造影剤）の説明書と同意書**

あなたは、今回ヨード造影剤を用いた造影CT検査が必要と判断されました。検査の必要性、副作用の可能性（危険性）を理解され、造影CT検査を受ける事を承諾されましたら、下記に署名をお願いします。

1.ヨード造影剤はどのような薬で、どのような目的で使用するか

ヨード造影剤は、CT検査の際に静脈から注射して、病変をより見やすくすることで、診断するための重要な情報を

得ます。一部の疾患では造影剤を使用しないと正しい判断ができません。

2.造影剤の副作用について

1）副作用の頻度：軽いものを含めて、2.5～3%(造影検査40人に1人程度)の患者さんに何らかの副作用が現れます。

ショックなどの重大な副作用は、ごくまれ（0.1％未満、造影検査2500人に1人程度）に現れます。

2）副作用の危険因子：アレルギー体質の方は副作用が現れる可能性が約3倍高く、中でも喘息の方は約10倍高いと言われています。また、造影剤は腎臓から排泄されるため、腎機能の悪い方はさらに悪化させることがありますので、主治医や検査担当医にご相談下さい。

3）副作用の症状:軽度の副作用は、吐き気や嘔吐　かゆみやじんま疹　くしゃみなどです。重大な副作用は、血圧低

下や喘息発作、呼吸困難などがみられます。非常にまれ（造影検査30万人に1名程度）ですが、死に至った報告

もあります。

4）副作用の時期:造影投与後30分以内に現れるものが多く、即時型副作用と呼ばれます。1時間以上経過して数日までの間に、かゆみ、じんま疹、全身倦怠感などが現れることがあり、遅発性の副作用と呼ばれます。

3.副作用が現れた場合の対応について

　造影検査中は、CT検査スタッフが常に観察しており、何か異常が現れた場合は造影を中止し、点滴や必要な薬品を投与し、適切な対処を致します。帰宅後に副作用と思われる症状が現れた場合は、時間外であっても外来にて対処いたしますので、電話連絡後（083－901－6111　時間外受付）に受診してください。

説明医師）紹介元医療機関：　　　　　　　　　　 　　 紹介元医師：

**造影用問診票**

1）今までに「造影剤」の静脈注射や点滴をしてCT検査、じん臓の検査、　　　　　　　（　はい　　 ・　いいえ　）

血管造影などの検査を受けたことがありますか。

A）1）ではいと答えられた方、そのときに副作用がありましたか？　　　　　　　　　　（　はい 　　 ・　いいえ　）

（具体的な症状：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）

2）アレルギー体質と言われたり、薬や注射食べ物などでしっしん、かゆみ、 　　　　（　はい 　　 ・　いいえ　）

じんましんなどがでたりしたことがありますか？

（具体的な症状：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

3）ぜんそくだといわれたことがありますか？ 　　　（　はい 　　 ・　いいえ　）

4）以下の病気があると言われたことがありますか？

いわれたことがある人は病気の名前に〇をつけてください。 　　　（　はい 　　・　 いいえ　）

・心臓病　　　・じん臓病　　　・肝臓病　　　・糖尿病　　　・高血圧

5）血のつながった家族の中に「造影剤」の注射をして副作用がでたり、ひどい　　　　 　（　はい　　 ・　 いいえ ）

　アレルギー体質の人はいますか？

6）妊娠中または妊娠している可能性がありますか？（女性の方のみ）　　　　　 　　　（　はい　　 ・　 いいえ　）

＜医療者記入欄>

血清クレアチニン値（　　　　 　　㎎/dl） 　eGFR ( 　　　 ml/分)　　 　検査日　　　年　　　月　　日

済生会山口総合病院院長　殿

私は、今回のCT検査における造影剤の使用について、必要理由、副作用および合併症の内容や頻度について担当医師から

十分に説明を受け、納得しましたので造影剤の使用について同意します。なお造影剤使用の最終決定は検査担当医師に委ねます。

　　　　年　　　　月　　　　日

患者住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　患者氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　 印

紹介元医療機関　　　　　　　　　　　　　　　　　　 紹介元医師　　　　　　　　　　　　　　 　　　　印

本患者はヨード造影剤の使用が可能と考えます　　医師